1. 施策の目的等

施策名	1	消防活動	消防活動体制の強化								
基本計画	章		消防力の強化								
↑扣业如珊々	警防部	警防課		所沢中央消防署 消防 管理課(中)	所沢東消防署 理課(東)	消防管	狭山消防署 課(狭)	消防管理	入間消防署 管理課(入)	消防	
主担当部課名 	飯能日高 管理課(高消防署(飯)	消防								
## 0 D ##				でする災害に迅速・的確に を目的とする。	対応できる消防	力を整備	帯し、住民の多	そ心・安全な	い暮らしを支える	5消防	
施策の目的 I											
	近年の災害形態は複雑多様化し、大規模地震やテロ災害等の発生など、消防を取り巻く環境は大きく変化している。 こうした状況の下、消防の広域化によるスケールメリットを活かし、現場活動人員や出動車両を増強し、初動体制の強化 と市境における現場到着時間の短縮など、消防活動体制の強化を図っている。また、消防車両等は整備計画に基づき										
				『時間の短縮など、消防/ 優先して更新し、消防力の			「いる。また、淮	的軍両等)	は整備計画に	基づき	

2. 事業費・人件費等の推移

			単位	平成27年度 (決算額)	平成28年度 (決算額)	平成29年度 (決算額)	平成30年度 (決算額)	平成31年度 (決算額)	
П		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
		財県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	事業	源地方債	千円	0	0	0	0	0	
	未費	訳その他	千円	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	492,567	391,725	0	0	0	
		事業費計(A)	千円	492,567	391,725	0	0	0	
		正規職員従事人数	人	23	21	0	0	0	
投 入		延べ業務時間	時間	25,464	26,743	0	0	0	
질		正規職員人件費計(B)	千円	110,743	120,718	0	0	0	
量		再任用職員従事人数	人	6	6	0	0	0	
	人	延べ業務時間	時間	1,147	1,695	0	0	0	
	夂	再任用職員人件費計(C)	千円	3,028	4,097	0	0	0	
		臨時職員従事人数	人	1	5	0	0	0	
		延べ業務時間	時間	102	1,068	0	0	0	
		臨時職員人件費計(D)	千円	91	951	0	0	0	
		人件費計 (E) =(B)+(C)+(D)	千円	113,862	125,766	0	0	0	
	 -	ータルコスト(A)+(E)	千円	606,429	517,491	0	0	0	

3. 指標実績の推移等

指標名	基準値	実績の推移						
	(単位)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値
車両整備計画(平成27年	64.0	実績	4.0	13.0	0.0	0.0	0.0	64.0
度~平成36年度)の進捗率	台	達成率	6.3	20.3	0.0	0.0	0.0	04.0
	0.0	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		達成率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		達成率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		達成率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		達成率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		達成率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		達成率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		達成率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

指標の分析

総合計画実施計画に掲げる平成28年度の目標値を達成している。

4. 施策の評価

これまでの主な取組と成果

- ①車両更新整備事業では、消防ポンプ自動車4台(三ケ島分署、狭山消防署、吾野分署、高萩分署)、指揮車1台(狭山消防署)、小型動力ポンプ付水槽車1台(飯能日高消防署)、査察車2台(所沢東消防署、入間消防署)、連絡車1台(飯能日高消防署) 合計9台を整備した。②消防機械器具整備事業では、防火衣更新計画に基づき防火衣75着を更新した。
- ③消防水利整備事業では、消防水利を設置及び修繕し、適正な維持管理に取り組み計画どおりに実施した。
- ④消防活動事業では、各種研修及び各種訓練へ10回77人、10回120人の職員をそれぞれ派遣した。また、災害時に迅速・的確に対応できるよう消防資機材を適正に維持管理した。

今後の課題

- ①車両更新整備事業では、車両更新に伴う、財政負担の軽減を考慮しなければならない。また、車両整備計画に基づき、現有車両のより効率的な車両配置が必要である。
- ②消防機械器具整備事業では、防火衣更新整備計画の耐用年数を原則7年に定めているが、使用頻度及び経年による劣化状況を鑑み、防火衣更新整備計画の見直しを行なう必要がある。また、退職者から返納された防火衣を効果的に再利用するため、運用管理方法を定める
- ③消防水利整備事業に係る防火水槽の設置には、多額の経費を必要とするため、財政負担を踏まえた計画的な整備が必要である。
- ④消防活動事業では、災害現場経験の豊富な職員が退職することにより、若年層職員の育成が急務である。また、老朽化している高額の消防資機材の維持管理については、多額の経費を要する。

今後の展開

- ①車両更新整備事業では、はしご付消防車の削減や、現有車両の適正配備について精査する。
- ②消防機械器具整備事業では、防火衣更新整備計画の見直し及び再利用防火衣の運用管理方法を定める。
- ③消防水利整備事業では、消防水利を良好な状態に維持管理する。
- ④消防活動事業では、他機関と連携した大規模合同演習を企画、立案する。また、各消防署にはほぼ同様の資機材が配備されているが、 特殊資機材については消防局全体で配備計画の見直しをする。

5. 構成事務事業の評価

事務事業名				古光话叫	平成28年度	事務事業		有効	優
		主要施策名		事業種別	決算額(千円)		評価/総合評価		先 度
1	車両更新整備事業(消防局)	311	消防車両等の整備	行政管理(財産等管理 /要綱等)	213,232	В	1	А	А
2	消防機械器具整備事業(消防局)	311	消防車両等の整備	行政管理(財産等管理 /要綱等)	14,025	В	1	В	В
3	消防水利整備事業(所沢中央消防署)	312	消防水利の整備	施設管理(施設の維持 管理/法律等)	47,840	А		В	В
4	消防水利整備事業(所沢東消防署)	312	消防水利の整備	施設管理(施設の維持 管理/法律等)	1,546	А		В	В
5	消防水利整備事業(狭山消防署)	312	消防水利の整備	施設管理(施設の維持 管理/法律等)	10,524	В	1	В	В
6	消防水利整備事業(入間消防署)	312	消防水利の整備	施設管理(施設の維持 管理/法律等)	20,278	В	1	В	В
7	消防水利整備事業(飯能日高消防署)	312	消防水利の整備	施設管理(施設の維持 管理/法律等)	44,778	В	3	В	В
8	消防活動事業(消防局)	313	災害対応力の向上	教育(教育/要綱等)	4,663	А		В	В
9	消防活動事業(所沢中央消防署)	313	災害対応力の向上	行政管理(財産等管理 /要綱等)	5,971	В	1	В	В
10	消防活動事業(所沢東消防署)	313	災害対応力の向上	行政管理(財産等管理 /要綱等)	11,810	В	1	В	В
11	消防活動事業(狭山消防署)	313	災害対応力の向上	行政管理(財産等管理 /要綱等)	5,513	В	1	В	В
12	消防活動事業(入間消防署)	313	災害対応力の向上	行政管理(財産等管理 /要綱等)	4,405	В	1	В	В
13	消防活動事業(飯能日高消防署)	313	災害対応力の向上	行政管理(財産等管理 /要綱等)	7,140	В	1	В	В
14					0				
15					0				
16					0				
17					0				
18					0				
19					0				
20					0				
		391,725			-				
			391,725						

構成事務事業の 適当性 消防活動体制の強化に向けた消防車両等の整備、消防水利の整備及び災害対応力の向上を具現化するための各事務事業の取り組みは、着実にその成果が表れており構成事務事業の適応性は高いものと評価する。